

「ビブリオバトル小中学生大会 in 沼津 2025」 実施要項

1 目 的

読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。

このため、すべての子どもがあらゆる場所と機会において自主的に読書活動を行うことができるよう、ソフト・ハード両面から良好な環境の整備を推進する必要があります。

本市においては、「子ども読書活動推進計画」に基づき、関係機関・団体・地域との連携を進めるほか、「学習支援資料」の貸し出しや、学校図書館の司書研修会への参画など、図書館と学校が連携した取組を進めてまいりました。

このような取組の一環として、市内小中学生を対象に各自が読んで面白いと思った本を持ち寄って紹介し合い、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票の結果、一番得票数の多い本をチャンプ本とする書評ゲーム「ビブリオバトル」を実施するものです。

本イベントは、子ども達が他の子ども達にお気に入りの本の魅力を紹介することや、他の子ども達の紹介を聞くことにより、読書活動を推進することを目的としています。

2 概 要

日 時	予選	令和7年10月27日（月）～11月14日（金）
	決勝	令和7年12月14日（日） ＜小学生の部＞ 午前10時00分 から 12時00分 まで ＜中学生の部＞ 午後 1時30分 から 3時30分 まで
場 所	予選	市内小中学校
	決勝	沼津市立図書館 4階 視聴覚ホール
発 表 者	沼津市内の小中学校（加藤学園暁秀、特別支援学校を含む）に通う小学校5・6年生及び中学生	
	予選	各クラス1～2名程度
	決勝	小学生8名、中学生6名
投 票 者	予選	予選投票に参加希望のあった沼津市内の小中学校（加藤学園暁秀、特別支援学校を含む）の小学校4～6年生、中学生、学校関係者
	決勝	決勝大会観戦者（定員150名）及び発表者
主 催 問 合 せ	沼津市教育委員会（主管：沼津市立図書館）	
	沼津市立図書館 沼津市三枚橋町9-1	
	電話 055（952）1234 fax 055（952）1219	
	メールアドレス info@tosyokan.city.numazu.shizuoka.jp	

3 大会方式

(1) 予選（動画視聴型）

予選投票に参加希望のあった学校において、予選期間中に学校の活動内で児童生徒らが動画の視聴及び投票を行い、決勝進出者を決定する。

発表者 各クラス1～2名程度

投票者 予選投票への参加を希望した学級、グループ（図書委員など）

①[発表者] 発表者が読んで面白いと思った本を一人5分間（小学生の部は3分間のミニ・ビブリオバトルとして実施）で紹介した動画を、学校を通じて図書館へ提出する。

[予選投票参加者]学級や図書委員などを応募単位として、参加申込書を図書館へ提出する。

②発表者から提出された発表動画を図書館が5名程度ずつのグループに分ける。

③予選投票に参加希望のあった学校で、児童生徒らが②の動画を視聴し、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を行う。

※自校の児童生徒に票が偏るのを防ぐため、発表者の所属しない学校での投票となるよう振り分ける。

※1グループの視聴・投票に要する時間は30～40分程度を想定。

④学校から図書館へ投票結果をメール等で連絡する。

⑤図書館が票数を集計し、得票率の高い方から順に決勝進出者を決定する。

得票率が同率であった場合は、図書館職員がくじ引きを行い決定する。

※予選投票に参加を希望した学校が極端に少なく、予選投票が実施できない場合は、図書館職員等が動画を閲覧し決勝進出者を決定する。

⑥各学校へ予選結果を通知する。

(2) 決勝（会場型）

図書館会場にて発表及びディスカッションを行い、会場内の全員で投票を行い、チャンプ本を決定する。

発表者 小学生の部8名、中学生の部6名

投票者 決勝大会観戦者（定員150名）及び発表者

①発表者は予選で紹介したのと同じ本を、小学生は3分、中学生は5分間で紹介する。

②発表時間を必ず使い切り、発表時間が経過した時点で速やかに発表を終了する。

③レジュメやプレゼン資料の配布などはせず、できるだけライブ感をもって発表する。

- ④それぞれの発表の後に、参加者でその発表に関するディスカッションを、小学生は2分間、中学生は3分間行う。
- ⑤全ての発表が終了した後に、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員が行い、最多票を集めた本をチャンプ本とする。

(3) スケジュール

	発表者	予選投票参加者
参加申込期間	6月下旬～10月3日(金)	6月下旬～9月26日(金)
動画提出締切	10月10日(金)	
予選		10月27日(月)～ 11月14日(金)
予選結果通知	11月下旬	11月下旬
決勝	12月14日(日)	
全国中学ビブリオ バトル大会	未定	

4 表 彰

決勝

<小学生の部>

- | | |
|---------------|------------------------|
| 優 勝 (1名) | 賞状及び副賞 (図書カード 2,000 円) |
| 準優勝 | 賞状 |
| 参加賞 (優勝者以外全員) | 賞品 (図書カード 500 円) |

<中学生の部>

- | | |
|---------------|------------------------|
| 優 勝 (1名) | 賞状及び副賞 (図書カード 3,000 円) |
| 準優勝 | 賞状 |
| 参加賞 (優勝者以外全員) | 賞品 (図書カード 500 円) |

- ・予選参加者には全員に参加記念品を贈呈する。
- ・決勝大会の様子は図書館ホームページやSNS等で公開し、優勝及び準優勝者については、保護者の同意が得られた場合、後日沼津市公式YouTubeで配信する。
- ・図書館1階に特集コーナーを設置し、決勝大会で発表された本の紹介をする。
- ・中学生の部のチャンプ本獲得者または成績上位者1名については、「全国中学ビブリオバトル決勝大会」(開催未定)への出場を支援する。

5 ビブリオバトル公式ルール

★ ビブリオバトルとは

ビブリオは書物などを意味するラテン語由来の言葉（知的書評合戦）

biblio（本の意の接頭語）＋battle（戦い）は参加者同士で本を紹介し合い、最も読みたい本を投票で決めるゲーム感覚を取り入れた新しい形の「書評会」

★公式ルール

1. 発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
 1. 他人から推薦された本でも構わないが、必ず発表参加者自身が選ぶこと。
 2. それぞれの開催でテーマを設定してもよい。
2. 順番に1人5分間で本を紹介する。
 1. 5分間が経過した時点でタイムアップとし、速やかに発表を終了すること。
 2. 発表参加者はレジュメやプレゼン資料の配布などはせず、できるだけライブ感をもって発表すること。
 3. 発表参加者は必ず5分間を使い切ること。
3. それぞれの発表の後に、参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分間行う。
 1. ディスカッションの時間では、発表内容の揚げ足を取ったり、批判的な問いかけをしたりしてはならない。発表内容で分からなかった点の追加説明を求めたり、「どの本が一番読みたくなったか？」の判断に必要な質問を心がけること。
 2. 参加者全員が、お互いにとって楽しい場となるよう配慮すること。
 3. 質疑応答が途中の場合などはディスカッションの時間を多少延長しても構わないが、当初の制限時間を大幅に超えないように運営すること。
4. 全ての発表が終了した後に、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員が1人1票で行い、最多票を集めた本をチャンプ本とする。
 1. 発表参加者も投票権を持つ。ただし、自身が紹介した本には投票せず、他の発表参加者の本に投票すること。
 2. チャンプ本は参加者全員の投票によって民主的に選ぶ。一部の参加者（司会者、審査員、教員など）に決定権が偏ってはならない。

参加者は発表参加者、視聴参加者よりなる。参加者全員という場合にはこれらすべてを指す。

（ビブリオバトル普及委員会理事会決議 2022. 4. 1）